

Q 「国見の教育ビジョン」が 目指すものは何か

A 地域と一体となった国見型一貫教育 による人づくりを進める



佐藤定男議員

問 教育委員会が「国見の教育ビジョン」を策定した。策定の背景は。

教育長

一つには保育所、幼稚園、小中学校の統合を契機に一貫教育を中心とした新たな教育指針を作成する必要がある。

問

大きな柱のひとつとして「地

域と一体となった国見型一貫教育」を掲げている。実現のために新しく「学校運営協議会制度」を導入するとあるが、この制度の内容は。

教育長

平成16年に制度改正で各学校に設置可能となった。保護者や地域の人に学校運営の基本方針や教育活動などについて校長や教育委員会に対して意見を述べたりして学校運営に参加してもらうもの。

問

また同時に設置する「学校支援地域本部」とは。

また同時に設置する「学校支援地域本部」とは。

教育長

学校が必須とする活動についてPTAだけでなく広く地域の人をボランティアとして派遣する組織で、いわば地域に作られた学校の応援団である。

問

2つ目の柱として「国見型の連携一貫教育」を掲げているが、その内容は。

教育長

各教育機関が目指す子ども像を共有し、連続性を持った教育指導により、豊かな人間性や社会性の育成、確かな学力の向上、健やかな体の育成、そして郷土を愛する心の育成を図るもの。

問

一貫教育の具体的な内容は。

教育長

保幼小中間の交流ふ

問 「土曜塾」を導入する考えはあるのか。

教育長

現在、土曜塾とは呼んでいないが、スポーツ少年団活動や少年仲間づくり教室などの公民館活動を実施している。

問

14歳時の「立志式」についてはどうか。

教育長

新年度は立志式という儀式的な行事ではなく、中2を対象に日本サッカー協会の協力で夢先生事業を実施する予定である。今後、生徒に夢や目標を持つて大人としての自覚を持たせるには、どのような事業がより目標を達成できるのか、立志式の実施も含めて、さらに検討していく。



新生生の誓いの言葉(県北中学校入学式)

今後は、生徒に夢や目標を持つて大人としての自覚を持たせるには、どのような事業がより目標を達成できるのか、立志式の実施も含めて、さらに検討していく。

Q 商店街と交流の場を どのようにつなぐのか

A 相互往来の利便性と連携を図り 一体感を創出する

問 道の駅を核とした交流の場の建設予定地は。

道の駅を核とした交流の場の建設予定地は。

町長 平成21年に発表したとおり、農協ガソリンスタンドのある交差点の国道東側である。

問 オープン時期はいつ頃か。

町長 平成28年の秋をめどに進めていく。

町長 商店街と交流の場の接続が課題。まず、どの横断方式が良いか関係者と協議し、決定していく。

運営面では伝統行事などを通じ商店街との連携や農工商が一体感を持った心の交流を図ることも重要である。

建設課長 補助率は借入金返済に対する交付金を含めると70%である。なお、物販など収益部分は補助対象外である。

物販スペースがそれほど広くない。売り場面積の小さく補助率は変わるのか。また、建設費のどのくらいを補助率として見込んでいるのか。



この賑わいを交流の場にどうつなげるか
(商店街の春のフードフェスタ)

問 商店街からは国道の横断が必須。歩行者の安全のため地下歩道が必要では。

商店街からは国道の横断が必須。歩行者の安全のため地下歩道が必要では。

問 補正予算に土地購入費として1億5600万円計上してある。買収面積と地権者の人数は。

補正予算に土地購入費として1億5600万円計上してある。買収面積と地権者の人数は。

産業振興課長 検討委員会でコンビニの集客力、経営戦略を活用すべきとの意見があった。

物販は地元農産物が中心。仕入れ組織をいつ立ち上げるのか。

問 コンビニエンスストアを入れる計画だが、当初はなかった。変わったのか。

コンビニエンスストアを入れる計画だが、当初はなかった。変わったのか。

問 運営組織としてNPO法人または株式会社を新年度中に設立する計画だ。違いは何か。

運営組織としてNPO法人または株式会社を新年度中に設立する計画だ。違いは何か。

産業振興課長 現在、専門家と協議をしている。

赤字経営と赤字になった場合、不足はどうするのか。

産業振興課長 万が一、赤字が出たとしても運営主体で解消すべきもの。ただ、交流の場には多様な機能があるので詳細は今後詰めていく。

建設課長 2万5000平方メートルで14人の所有者である。

物販は地元農産物が中心。仕入れ組織をいつ立ち上げるのか。

問 いろんな機能がある施設運営には人手もかなり必要

いろんな機能がある施設運営には人手もかなり必要



東海林一樹議員